

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
飛騨市	古川細江地区 (太江、杉崎、袈裟丸、末高、数河)	平成24年8月1日	令和3年3月18日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	173 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	167 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	24 h a
i うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	14 h a
ii うち後継者のいる農業者の耕作面積の合計	10 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	78 h a
(備考) ④の耕作面積は、古川地域全体の面積である。	

2 対象地区の課題

<p>【太江】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な後継者問題（営農組合の在り方含む） ・ 農業経営による安定的な収益を確保することが困難である ・ 水路、農道の整備 ・ 鳥獣対策の問題 ・ 農作業の効率化 ・ 離農問題 ・ 人手不足による、作業や役員の負担増加 <p>【杉崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地面積が狭小であり、区画拡大が必要である ・ 水路の老朽化 ・ 営農組合の高齢化 <p>【袈裟丸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化による人手不足や地域内の担い手不足、若い人の農業離れにより農地が守っていけなくなる恐れがある ・ 地域の中心となる次世代の耕作者がいない ・ 農地面積が狭小であり、区画拡大が必要である <p>【末高】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度を活用し、地区のまとまりもできており農地の維持管理ができています <p>【数河】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整地していない農地は1筆が狭く機械が入らないため、作業効率が悪く担い手農家が農地利用しづらい ・ 畦畔が大きく、傾斜が強いため草刈りが大変である ・ 区外土地所有者の農地管理が大変である
--

3 対象地区内における課題に対する取組

【太江】

- ・ 営農組合を中心に、大規模な担い手や兼業農家が連携し農地の維持を行う
- ・ 集約化の検討を行う
- ・ 中山間地域等直接支払制度を活用していく

【杉崎】

- ・ 土地改良エリア外の課題に関しても土地改良事業推進協議会で検討する

【袈裟丸】

・ 農業の生産効率の向上や農地集積、集約化を図るため、農地の大区画化を土地改良事業により基盤整備に取り組む

- ・ 若いリーダーを育成していくために、地域で話し合いの場を設ける
- ・ 耕作できなくなったときの相談窓口（後継者がいないところ限定）となっているが今後も継続していく

【数河】

- ・ 数河地区は、担い手が多くの農地を活用しているため荒廃農地が少なく今のところ問題はない
- ・ 区外土地所有者に対して、土地管理（草刈り等）をお願いする案内を出す

4 3を実現するために必要な取組に関する方針

【杉崎】

- ・ 土地改良事業への着手

【袈裟丸】

- ・ 土地改良への取組の検討
- ・ 現状を維持しながら土地改良工事に入るまでのつなぎとして、担い手の確保や段階的に集約を行う交換分合などの検討